— 人と自然により良い環境を後世に遺すために —

株式会社 北海道技術コンサルタント

所在地：〒065-0043 札幌市東区苗穂町４丁目2-8
TEL　：011-753-5560
FAX　：011-753-4814
URL　：https://www.dogi.co.jp
従業員：60名
創　立：1966年３月
代表者：代表取締役社長　関部 健治

社屋全景　桜とともに

図1　ネーミングライツダムカード

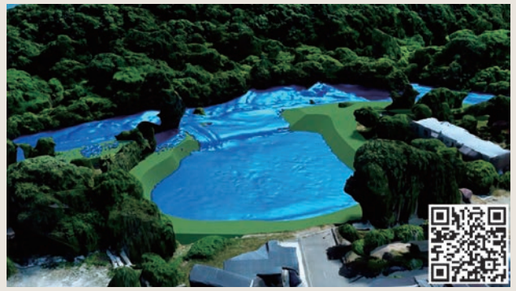

図2　3DCGを用いた流体シミュレーション

会社概要

当社は、1966年3月に株式会社小野工務所として測量業務を主とした会社として創業いたしました。その後、1981年10月に社名を株式会社北海道技術コンサルタントに変更し、翌年、建設コンサルタント登録を行い主に公共土木の河川・砂防・環境分野でサービスを提供する建設コンサルタントとして56周年を迎えました。

経営理念

『私たちは、技術と誠意をもって、安全・安心・快適な地域づくりに貢献し、北海道のインフラを支え続けます』

・私たちの誇り
　地域に根差した、河川・砂防・環境の技術者集団
・私たちの約束
　顧客満足の追求と、地域社会への貢献
・私たちのこだわり
　社員の “幸せ”と “やりがい”を実現する職場環境

わが社の取り組み

3DCGを用いた流体シミュレーション

河川等の設計において、発注者や地元住民が設計後の川の流れ方を確認するための、3DCGを用いた動画を作成する取り組みを行っています。それにより、設計段階でどのように水が流れるかを立体的に確認出来るようになり、工事完了後のイメージがし易くなります。河川脇に「遊水池」を設けた場合のシミュレーション動画を上記画像内のQRコードで確認出来ます（図2）。

AI技術の応用

近年様々な分野で取り入れられている画像認識技術の応用を実験的に取り入れています。カメラで動体を自動撮影した写真を分析し、動物等が映り込んでいる写真だけを取り出しメールを送信するプログラムを作成しました。環境分野での応用を検討中です。

レーザードローンの活用

わが社ではレーザードローンを有しております。レーザードローンは簡易かつ安価に高精度の地形データを取得することが出来ます。測量実施前の概略検討段階での地形把握、災害時の迅速な調査、地形モニタリング（定期観測）などに活用しています。

写真1　地形再現実験の様子

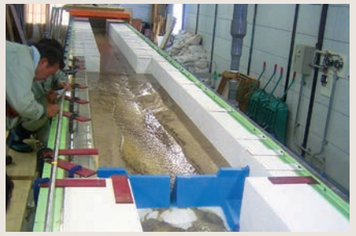

写真2　室内水路実験の様子

写真3　苗穂通に花咲き揃う『亜麻』

写真4　亜麻のふるさと当別ダム

写真5　小学生の川遊び体験・環境教育支援

写真6　工業高校から感謝状

写真7　工業高校の課題研究支援

写真8　産卵環境復元のための現地指導

写真9　手作り魚道設置支援

シミュレーションを用いた検証

河川砂防分野の計画・設計、維持管理等において、河道形状や対策工の配置計画等が効果的な提案となっているかを確認するため、必要に応じて数値計算シミュレーションを用いて予測・検証を行っています。

水理模型実験による効果検証

数値計算では確認できない現象の検証や河川・砂防施設の効果検証を目的として、2004年に北海道内建設コンサルタントでは唯一の大型水理模型実験場を当別町に建設しました。砂防施設や河川構造物の効果検証や河道計画に活用しています（写真1, 2）。

社会貢献活動

亜麻による地域貢献

2011年より毎年ボランティア活動として、会社最寄りの「苗穂通」に毎年100～200株の亜麻苗を社員で植栽しています。少しずつ沿道が亜麻の可憐な薄紫色に染まっていくのを楽しみに活動しています。また「亜麻復活」認識向上のため、亜麻の生産地である当別町にある当別ダムをネーミングライツスポンサー企業として「亜麻のふるさと当別ダム」と名付け、亜麻の植栽活動やダムカードの配布により「亜麻畑」を「観光」に連動させることで水源地域の活性化に協力しています（図1、写真3, 4）。

環境学習支援

小学生や高校生を対象に河川環境や防災について学び、体験する授業の補助や、課題研究において、河川環境を題材に課題を見つけ解決していく過程を支援しています（写真5, 6, 7）。

産卵環境復元のための技術協力

多自然川づくりの実績を活かして、近年漁獲量が減少してきたサケの資源回復のため、漁業関係者が自然産卵をうながす取り組みに技術協力しています（写真8, 9）。

結び

『人と自然により良い環境を後世に遺すために』

いま私たちが生きているこの大地は、未来からの借りものです。私たちの子孫たちが安心して豊かに暮らせるように。私たちは心を込めた技術で、北海道の地域づくりに貢献します。

（文：執行役員技術本部長　中山 仁）